

# 会 議 議 事 録

1 会議名	平成29年度 第2回長岡市放課後子ども総合プラン運営委員会												
2 開催日時	平成30年2月13日(火) 午後6時から午後7時50分												
3 開催場所	さいわいプラザ 6階 602会議室												
4 出席者名	<p>■出席委員 (12名)</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">田中委員(表町)</td> <td style="width: 33%;">中野委員(神田)</td> <td style="width: 33%;">小沼委員(黒条)</td> </tr> <tr> <td>関委員(前川)</td> <td>伊藤委員(前川)</td> <td>加藤委員(宮内)</td> </tr> <tr> <td>勝山委員(中島)</td> <td>野中委員(三島)</td> <td>下條委員(山本)</td> </tr> <tr> <td>鳥羽委員(大島)</td> <td>片桐委員(上組)</td> <td>大竹委員(新町)</td> </tr> </table> <p>■事務局 (5名)</p> <p>青少年育成課</p> <p>伊津課長 丸山係長 小林(悟)主査  小林(喜)放課後発達支援コーディネーター  高橋放課後子どもプラン推進コーディネーター</p>	田中委員(表町)	中野委員(神田)	小沼委員(黒条)	関委員(前川)	伊藤委員(前川)	加藤委員(宮内)	勝山委員(中島)	野中委員(三島)	下條委員(山本)	鳥羽委員(大島)	片桐委員(上組)	大竹委員(新町)
田中委員(表町)	中野委員(神田)	小沼委員(黒条)											
関委員(前川)	伊藤委員(前川)	加藤委員(宮内)											
勝山委員(中島)	野中委員(三島)	下條委員(山本)											
鳥羽委員(大島)	片桐委員(上組)	大竹委員(新町)											
5 欠席者名	吉岡委員(希望が丘) 本間委員(関原) 五十嵐委員(山古志) 長谷川委員(山通)												
6 議 題	<p>1 長岡市の放課後子ども教室の取組の発展・充実に向けての協議</p> <p>テーマ</p> <p style="padding-left: 40px;">長岡市の放課後子ども教室の充実に向けて  ~たくさんの子どもが、放課後や週末等を  楽しく 安全に 有意義に過ごすために~</p> <p style="padding-left: 40px;">今年度の取組の成果や課題、来年度に向けての方向性や取組  について、三つのグループに分かれて協議する。</p> <p>Aグループ</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">① 協議の視点</td> <td>活動内容の充実 参加児童の増加について</td> </tr> <tr> <td>② メンバー</td> <td>中野委員 関委員 勝山委員 高橋C o.</td> </tr> </table> <p>Bグループ</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">① 協議の視点</td> <td>子どもたちの育ちについて (育っている姿、問題と感ずる姿)</td> </tr> <tr> <td>② メンバー</td> <td>田中委員 野中委員 下條委員 大竹委員 小林C o.</td> </tr> </table> <p>Cグループ</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">① 協議の視点</td> <td>よりよい運営に向けて関係機関との連携強 サポーターの確保、広報等</td> </tr> <tr> <td>② メンバー</td> <td>小沼委員 伊藤委員 加藤委員 鳥羽委員 片桐委員 小林主査</td> </tr> </table>	① 協議の視点	活動内容の充実 参加児童の増加について	② メンバー	中野委員 関委員 勝山委員 高橋C o.	① 協議の視点	子どもたちの育ちについて (育っている姿、問題と感ずる姿)	② メンバー	田中委員 野中委員 下條委員 大竹委員 小林C o.	① 協議の視点	よりよい運営に向けて関係機関との連携強 サポーターの確保、広報等	② メンバー	小沼委員 伊藤委員 加藤委員 鳥羽委員 片桐委員 小林主査
① 協議の視点	活動内容の充実 参加児童の増加について												
② メンバー	中野委員 関委員 勝山委員 高橋C o.												
① 協議の視点	子どもたちの育ちについて (育っている姿、問題と感ずる姿)												
② メンバー	田中委員 野中委員 下條委員 大竹委員 小林C o.												
① 協議の視点	よりよい運営に向けて関係機関との連携強 サポーターの確保、広報等												
② メンバー	小沼委員 伊藤委員 加藤委員 鳥羽委員 片桐委員 小林主査												
7 審議結果の概要	意見を集約し、会議を終了												
8 審議の内容	<p>1 開会の挨拶(課長)</p> <p style="padding-left: 40px;">日頃より、地域の子どもたちに、安全で有意義な放課後の居場所作りにご尽力いただきありがたい。子どもたちが、様々な交流や体験が</p>												

出来るように活動を工夫していただいている。

来年度は、青葉台地区、太田地区で開設されることになり、長岡市全体では、17地区19小学校区での実施となる。

今年度2回目のこの運営委員会では、一年間の事業実施後の検証と評価を行い、次年度へよりよくつないでいただくよう、活発な協議をお願いしたい。

## 2 議事

(1) 三つのグループに分かれて協議を行う。

(2) グループ協議の報告を行う。

### ① Aグループ

主に、活動内容の充実や実施方法の改善、参加児童の増加について協議をした。放課後子ども教室は、安全、安心な子どもたちの放課後の居場所作りを大事にしていることを大前提にして取り組んできている。

教室の内容に関わっての成果として、スポーツや工作等、子どもの興味や関心を考え、バラエティに富んだ内容で教室を開設していることが挙げられる。

その中で、琴や太鼓、お花やお茶等、地域の特性を大事にした内容や伝統文化を大事にした内容で実施している教室が多い。指導出来るサポーターの協力のおかげで実施出来ている。

さらに、全ての教室で放課後や週末だけでなく夏休み等の長期休業中にも、それぞれの教室で内容を工夫して活動を行っていることが挙げられる。

その他の成果としては、どこの教室でも挨拶することを大事に実施していることが挙げられる。挨拶しない子もいるが、そのような場合には大人から挨拶をするようにしている。また、活動する中で、子どもと指導者や見守りのサポーターと交流することを大事にしている教室が多い。

さらに、定期的にサポーター同士の情報交換会を行い、子どもの活動の様子を話し合ったり、体験させたい活動内容や子どもにふさわしい活動内容等について模索したりしている地区があり、その取組を参考にしたい。

課題としては、子どもの興味をそそるような内容で実施したいが十分ではないことが挙げられる。子どもたちがどのような内容を望んでいるのか、子どもたちのニーズを把握しながら内容を決めるように努めている。しかし、多くの子どもたちがいるのでニーズもばらばらであり、全ての子どもたちが満足出来るわけでもない。子どもたちのやりたいことがあり、大人がやらせたいこともあり、そこにずれもある。

次に、集中力や意欲が持続せず、すぐに飽きてしまう子どもがいることが挙げられる。活動そのものを楽しんでほしい。また、飽きないように前半と後半で内容を変えたりするなどのやり方もあり、参考にしたい。

次年度大事にして取り組みたいこととして、子どもたちのニーズの把握にさらに努め、様々なニーズを整理して活動内容に活かしていきたい。その中で、文化的な内容、紙芝居等のその地域で大事に

されてきた内容、人気の高いスポーツ関係、そして今話題の囲碁・将棋等の実施が考えられる。

さらに、子どもたちが集中できるように活動の仕方を工夫していきたい。カードを活用する、発表の場を設ける、作品を展示・掲示する、前半と後半で内容を変える等の工夫が考えられる。すでに実施している教室も多く、そこでの取組を参考にしたい。

これまで述べてきたことを実現するためには、定期的にサポーター同士が集まり、子どもの様子をもとに話し合いをして、改善しながら取り組むことが大事になる。

そして、今後も、子どもたちとサポーターとの交流を大事にしたい。サポーターの多くは地域の住民である。活動を通して地域住民と交流を深めることは、子どもにとってもサポーターにとっても大事なことである。このようなことを来年度は大事にして取り組みたい。

## ② Bグループ

Bグループでは、主に子どもの育ちの面から放課後子ども教室での取組について話し合った。

成果を挙げている取組として、司会や最初と最後の挨拶等を子どもたちに任せることで、意欲的な姿が見られているということである。また、コミュニティセンターの文化祭で、子どもたちにコーナーの企画や進行を任せたら、意欲的に実施してくれたことの報告もあった。子どもは任せられれば、考えたり協力したりして期待に応えようとする面がある。任せることで、意欲的で望ましい姿が見られている。

また、意見箱を設置して子どもから意見を出してもらうことにより、子どもの考えを活動内容に反映させやすくなり、子どもたちの主体的な参加態度につながってきているという取組の紹介があった。大人がさせたいことが子どもには人気がないこともあり、活動内容によっては、大人と子どもの中にミスマッチが感じられることがある。子どもの考えを聞くことを大事にすることで、子どもの参加意欲の高まりが期待出来る。考えを聞く方法の一つとして意見箱の活用が考えられる。

課題として、友だち同士でうまく関われない子どもや大人との接し方が分からない子どもがいるが、そのような子どもにどのような支援をしてきたかが挙げられる。自分の思いを伝えられず小競り合いになったり、言葉がきつかったり、大人に対して失礼な言葉遣いをしたりする子どもがいるが、このような子どもたちにしっかりと対応してきたのか。また、どのように対応すればいいのか。今後の課題である。

今後大事にしたいことは、伝統文化を伝承するような内容を取り入れたり、留学生との交流を深めたりする等、活動内容を見直しさらに充実させ、子どもたちのためになるようなやり方を工夫する必要がある。

また、何のために放課後子ども教室を実施するのか、何を求めて放課後子ども教室を実施するのかを、関わる大人がしっかり考えて取り組みたい。放課後子ども教室の取組の意義を考え、子どもの育

ちにつながるように取り組むことをさらに大事にしたい。

山本地区で取り組んでいる「挨拶の木」や「あったか言葉の木」のように、子どもたちが自分で見て、自分たちのがんばりを確認できるような工夫を考えていくことも大事になる。この例のように、子どもたちの育ちにつながるように、必要な手立てを講じながら取り組むことを大事にしたい。

さらに、子どもをよく見て、褒めることを大事にしたい。きつい言葉を使ったり失礼な言い方をしたりするときは、その場で注意することを大事にしながらも、褒めることも大事にしたい。そのためには、子どもとおしゃべりをしたり一緒に活動したりしながら子どもをよく見ることを大事にしたい。学年を越えて協力し合う子どもたちやサポーターに話を聞いてもらおうと落ち着く子どもがいる。よく見ていると、子どもたちの様々な様子が見えてくる。よいところを褒めることを大事にしたい。

このようによりよく取り組むには、地区の運営委員会で話し合うことが大事になる。放課後子ども教室でねらうことや活動内容、やり方、サポーターの役割などを話し合うことを大事にしたい。また日頃から、事前の話し合いや準備、事後の話し合い等が必要になる。事後に話し合ったことを改善に活かしながら実施するように努めたい。

### ③ Cグループ

Cグループでは、主によりよい運営に向けて、関係機関との連携強化やサポーターの確保や広報について話し合った。

まず、成果としては、どこの教室でも活動内容を工夫して行っていることが挙げられる。例えば、その時々季節に合ったテーマで絵手紙を書いたり、練習だけでなくお茶会の発表会を行ったり、囲碁では夏休みにプロから指導していただく機会を設けたり、前半と後半で内容を変え興味を持続させながら英会話の活動を行ったりするなど、教室の活動内容が充実している。

そのために、老人会や市のスポーツ協会や国際交流課、地域の様々なサークル、食生活改善推進委員、お茶の先生、外国の方々等々いろいろなところと連携しながら、サポーターをお願いして実施している。

また、学校との連携では、教員が顔を出して下さっている教室がある。募集案内を配るときには、学校をお願いをしている等、学校からも協力していただいている。

課題は、どの地区でもサポーターの確保が難しいということが挙げられる。サポーターが高齢になったり家庭の事情があったりして続けるのが難しくなっても、引き継いで下さる方がみつからない状況がある。活動内容や活動の様子を載せる等広報紙を工夫し、地域への広報に努めたい。

また、もっと多くの児童に参加してほしいと思う。参加する児童が少しずつ増えてはいるが、さらに増えてほしい。児童クラブから参加する児童は比較的多いが、一般からの参加者はそれほど多くないのが現状である。活動内容がとても工夫されているので、是非一般の子どもたちからも大勢参加して、様々な体験をしたりサポータ

	<p>一と交流したりしてほしい。そのために、誘い方や募集の仕方を工夫していく必要がある。</p> <p>今後、大事に取り組みたいことは、子どもたちの言葉遣いや態度をもっとよくできないかということである。学校が終わった放課後のことなので、学校と区別している子どもがいるのではないかと思われる。友だち同士の言葉遣いや外国の方への接し方、サポーターへの言葉遣いや態度などがよいとは言えない状況も見られる。来年度は、子どもたちの言葉遣いや態度がよりよくなるように、サポーターの協力を得て取り組みたい。</p> <p>④ 質疑 なし</p> <p>3 その他  諸連絡 (1) 会計監査や事業報告について  (2) 事故防止の徹底について  来年度の放課後子ども教室の実施に関わって  来年度の放課後子どもプラン運営委員会の実施に関わって</p> <p>4 閉会</p>
9 出席委員の署名欄	省略
会議資料	別添の通り <input type="checkbox"/> 要項関係 次第、参加者名簿、グループ協議について <input type="checkbox"/> 資料 長岡市放課後子ども総合プラン運営委員会開催要領 平成 29 年度放課後子ども総合プラン推進事業 平成 30 年度放課後子ども教室の活動開始にあたって 平成 29 年度放課後子ども教室（概要版） 平成 29 年度放課後子ども教室の活動内容について 放課後子ども教室における事故防止の徹底について